



津久戸小のきらり 3

副校長 和歌 恭子

長雨が続き、猛暑よりはと思いつつも、外に遊びに出られず落胆する子供たちの姿に胸を痛める日の多かった9月でした。ともあれ、涼しさで夏休み気分も抜け、それぞれの学年が気持ちもあらたに学習に取り組んでいます。今回取り上げる「津久戸小のきらり」は、その学習の中に本校がこれでもかと盛り込んでいる「体験活動」です。

保護者の方はご存知だと思いますが、本校は、地域性を生かした体験型の学習活動がたくさんあります。毎年続けて取り組んでいるものもありますし、新しく開拓したものもあります。9月の学校公開で言えば、前者としては、地元企業の方と取り組んだ2年生の「エコバッグ作り」、後者としては、6年生が取り組んだ「塩麴作り」があります。10月に4年生が参加する「神楽坂まち飛びフェスタ」は、両者の合体版と言えるでしょう。毎年取り組んできた「内藤とうがらしプロジェクト」の発表の場として、昨年度からこの企画に参加してきました。今年は10月16日（金）に本校の講堂で行います。お時間がありましたら、是非、ご覧ください。

なぜ、「体験活動」を重視するのかなと言えば、実際に体験しなければわからない気付きがたくさんあり、それが子供たちの人生を豊かにしていくと考えているからです。しかし、そうした教員の熱意を汲み、アイデアの具現化を支えてくださるスクールコーディネーターさんや、子供たちのためにと協力してくださる地域の方々や保護者の方々がいらっしゃらなければ、これほど豊かには実現できないものでもあります。だからこそ「体験活動」は津久戸小の自慢であり財産でもあります。

今回の「きらり」は、津久戸小を支えている大人たちの汗のきらめきでした！

家庭科学習の様子

学習支援員

今年は、9月初めに6年生のだしの調理実習を行いました。鰹節・昆布・煮干し・干し椎茸それぞれのだしをとり飲み比べをしました。素材ごとに、味わいの違いを確認しそのうえで顆粒だしも一緒に比べました。子供たちは、素直に「顆粒だし味が濃い！」「だしをとった椎茸食べたい！」と目をキラキラと輝かせてとても楽しそうでした。

5年生は、味噌づくりに挑戦しました。みやこ糀の伊勢惣さんから、味噌づくりキットを購入し、それぞれ一生懸命キットのすり大豆と糀を腕が痛くなるまで丁寧に満遍なく混ぜ、丸めて味噌樽へ投げ込みました。仕上がりは6月ごろを予定しています。

家庭科では自分たちで、一から調理することを心から楽しみ美味しく味わうことができるように指導していきます。子供たちから「楽しかった！美味しくできた！」の言葉を聞けるように頑張ります。年度終わりに、子供たちに「家庭科楽しかった！」と思ってもらうことが目標です。

学校図書館から

図書主任

本校の学校図書館は、地域や保護者、ボランティアの方々によって支えられ、充実した読書活動を行うことができます。いつもご協力いただきありがとうございます。

6月の「ファミリー読書」では、保護者の方から暖かいコメントをたくさんいただきました。また、今年度も30名以上の図書館ボランティアの参加があり、朝の読み聞かせや掲示物、水曜日の図書館開放など活気ある活動をしてくださっています。

その他特色ある取組として、「読書の日」があります。1学期は、読書をひたすら楽しむことはもちろん、図書委員が「本のかみかくし」を企画・実施しました。2学期には図書館ボランティアの方々や地域協働学校の方々による読書イベントを企画中です。図書委員も、お話給食の読み聞かせ動画や、読書ビンゴの準備しているところです。もうすぐ秋。ぜひご家庭でも「読書の秋」をお楽しみください。

